

令和6年度

文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

愛知県蒲郡市

自治体名：愛知県蒲郡市

担当課名：学校教育課

電話番号：0533-66-1165

1.自治体の基本情報



基本情報

面積	56.81 km ²
人口	74,065 人
公立中学校数	7 校
公立中学校生徒数	2,010 人
部活動数	14 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	令和4年度 検討委員会設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未設置

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

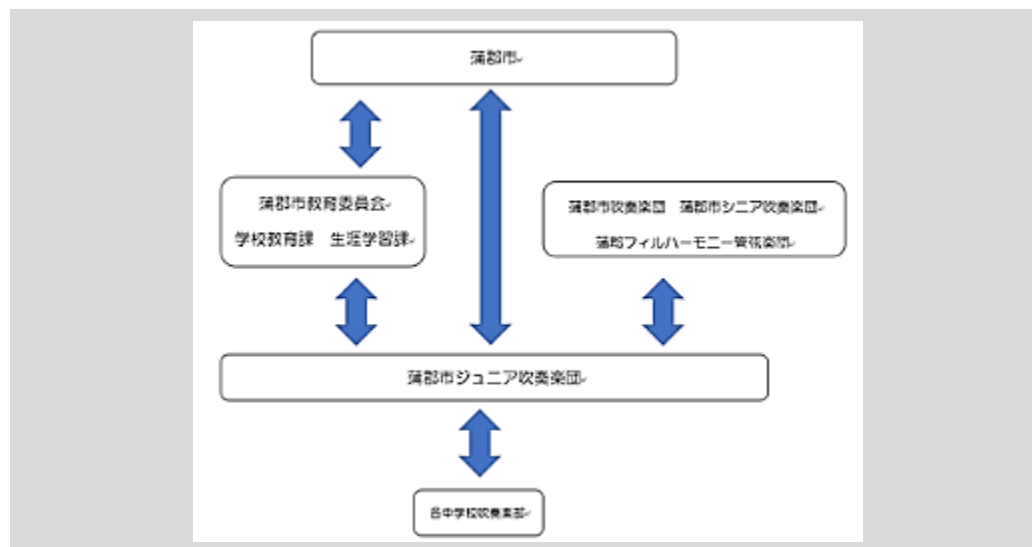
市の人口減少とともに、市内中学校の各部活動の部員数も減少の一途を辿っている。本市の文化部活動は吹奏楽部が主であるが、これも例外ではない。生徒数、部員数の減少によって、編成が組めなくなったり、必要な楽器を演奏する生徒が足りなくなったりしている。このような状況の中で、歴史ある蒲郡市ジュニア吹奏楽団が、地域文化クラブ活動として、多くの中学生が活動する場となっている。

蒲郡市としては、生涯学習課を中心として、吹奏楽をはじめとする学校の文化部活動のみでなく、様々な文化的活動において地域展開を広げていきたいと考えるが、現状はまだまだその入り口に立ったばかりというところである。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

・会場提供 楽器提供 指導者派遣

◎首長部局

・未定（令和6年度末現在）

年間の事業スケジュール

令和6年	4月	団員募集のための説明会(通年)
令和6年	5月	第9回蒲郡市国際交流音楽祭へむけて
令和6年	6月	第9回蒲郡市国際交流音楽祭へむけて
令和6年	7月	第9回蒲郡市国際交流音楽祭へむけて 各学校吹奏楽部への支援
令和6年	8月	第9回蒲郡市国際交流音楽祭
令和6年	9月	新入団員を交えた新メンバーによる練習
令和6年	10月	強化合宿 各種依頼演奏
令和6年	11月	各種依頼演奏
令和6年	12月	各種依頼演奏
令和7年	1月	第24回演奏会にむけた練習
令和7年	2月	第24回演奏会にむけた練習
令和7年	3月	第24回演奏会

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	7 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（6 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	6 人	全体の運営スタッフ数	6 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
蒲郡市ジュニア吹奏楽団	蒲郡市ジュニア吹奏楽団	吹奏楽	月2回 演奏会前などは月4回	9:00-12:00	中学1～3年	年間	幼稚園 消防署 市民会館 生きがいセンター	6 人	6 人 (内、兼務0人)	年会費 3,000円 演奏会協力 2,000円	自主演奏会 訪問演奏 依頼演奏 演奏旅行等

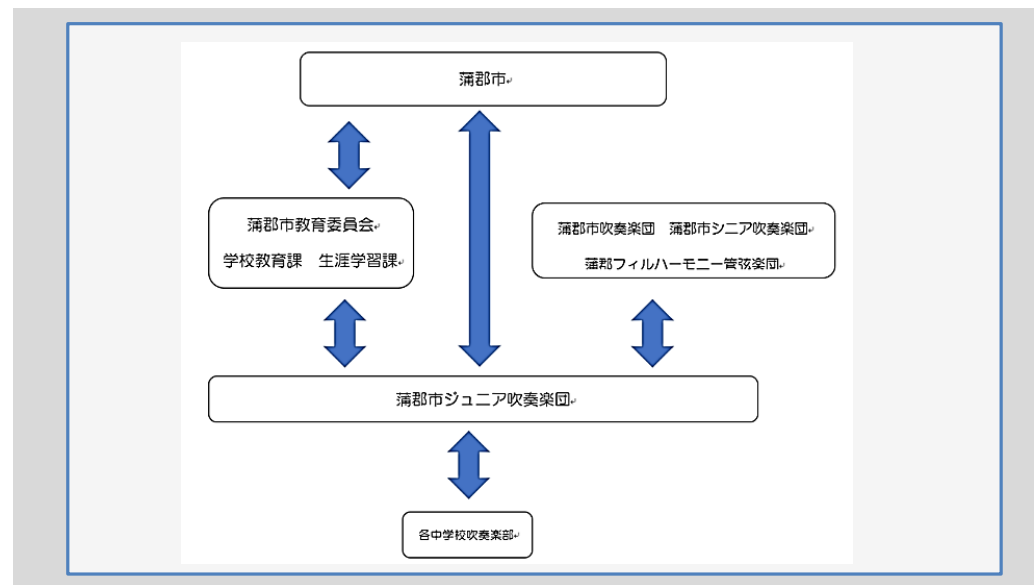
2.実証内容と成果

主な取組例

●蒲郡市ジュニア吹奏楽団 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	吹奏楽
運営団体名	蒲郡市ジュニア吹奏楽団
期間と日数	年間（活動は毎月2回）
指導者の主な属性	愛知県教育総合センター職員 市内幼稚園、小中学校教諭
活動場所	市内幼稚園 消防署 市民会館 生きがいセンター
主な移動手段	保護者による送迎 自転車 徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	3,000円
1人あたりの保険料	なし

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 代 表 楽団を統括し、会議を主催する。
- 団 長 楽団の団務を統括する。
- 事務局長 団の庶務を統括する。また当HPを管理・運営、渉外を兼ねる。
- 会 計 団の会計を管理する。
- 理 事 理事会(理事は保護者代表・代表・団長・副団長・事務局長で構成)を開き、その運営にあたる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

蒲郡市ジュニア吹奏楽団の代表・団長・事務局長が教育委員会及び校長会の承認を得て、運営を行っている。

教育委員会、校長会とさらなる連携を図り、活動を支援していただく体制づくりを図る。

取組の成果

市内にある7校の中学校のうち、6校に吹奏楽部があり、全国大会へ出場した学校も複数あり、また、東海・県大会の常連であったが、近年は東海大会以上への出場は難しくなっている。若い指導者が多くなったが、部活経営、指導技術の伝承が十分にできていないことが要因の一つと考えられる。

1995年、蒲郡市ジュニア吹奏楽団を設立し、指導者の技術交流だけでなく、部員の相互交流も増え、再び演奏技術が向上、卒団生からはプロの演奏家となる者や、また蒲郡市の教員となって当団の運営に関わるようになった者も多いる。

コロナ禍後、部活動の在り方が大きく変わったが、当団の活動は中学生の演奏技術の底上げに貢献するとともに、生涯にわたって音楽を楽しむ生徒を育む土壌となっている。



【蒲郡市民会館Instagramより】

今後の課題と対応方針

昨今、教職員の働き方改革が喫緊の課題となっている。当団の指導者の多くは、市内の小中学校の教員であるため、指導者、事務局員を広く、教職員以外からも募る必要がある。子どもたちの健全育成に大きく貢献している当団の活動意義を丁寧に伝えることで、さらなる支援を訴えていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- ・市内中学校吹奏楽部による
合同練習会の企画、運営
- ・課題曲講習会の実施
- ・愛知県内の強豪校(高等学校)との
合同演奏
- ・ジュニア吹奏楽団指導者と卒団員に
よる、市内中学校への巡回指導
- ・市内吹奏楽団との連携

人材バンクの人数

15名

人材バンクの年齢構成

10代	0名
20代	5名
30代	2名
40代	4名
50代	2名
60代以上	2名

登録者属性

市の吹奏楽団、当団のOB・OG、楽器経験のある保護者、教職員

取組の成果

これらの取組により、若手の顧問が、指導法や楽曲分析について理解を深めることにつながった。また、新入部員の楽器選択や、課題曲・自由曲など、コンクール曲の選曲、さらには保護者対応など、部活経営に関する多様なノウハウを学ぶことができた。

蒲郡市吹奏楽団、蒲郡市シニア吹奏楽団、さらには蒲郡市生涯学習課とも連携することで、中学校の生徒、指導者を支援するつながりができてきた。

市内中学校の吹奏楽部顧問の意識の高まりに比例し、当団への入団者も増加した。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

蒲郡市ジュニア吹奏楽団の代表・団長・事務局長は、教育委員会及び校長会の承認を得て、運営している。

関係団体との相互交流(演奏者の交流・指導者の交流・技術向上のための講習会開催等)を活発化させている。

取組の成果

学校での負担を減らし、技術・指導面で団員の力量向上を図った。学校での部活動での基礎的な指導時間が大幅に減った。

- ①学校という枠にとどまらず、地域全体で子供たちを支える意識が高まっている。
- ②練習場所の確保や活動するための予算の確保を働きかけている。
- ③学校の顧問を中心に、コーチ陣を配備できるよう、部活顧問との連携を継続している。
- ④ジュニア吹奏楽団の活動が学校での部活動やクラブ活動にも生きていくように、学校行事での演奏曲目の統一などが進んでいる。
- ⑤ジュニア吹奏楽団の活動に対して、一般に広く認知されるようになった。
- ⑥考えに賛同される他の団体と連絡連携を組み、よりダイナミックな活動を展開している(合同の演奏会やフェスティバルなど)。

また右パンフレットのように吹奏楽強豪校との共演に招待され、団員は感化されている。



【強豪校との共演】

今後の課題と対応方針

大型楽器や共有する楽器の多い打楽器など、質・量ともに不足している。学校の備品などを利用したい。

練習会場が定まらず、大型楽器の運搬・保管に困っている。また楽譜や備品などの保管場所にも苦慮し、毎回必要な物を指導者・事務担当が運搬しなければならない。安定した練習場所・保管場所・事務活動場所がひとつである。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

ジュニア吹奏楽団単独の活動だけでなく、各校との指導連携、課題曲講習会、楽器別講習会など実施してきた。また各校指導者との勉強会も実施してきた。

各自治体の役割

数年前までは、管楽器は部員が所属する各学校の備品を借りることができた。また大型打楽器などは、使用していない備品を年間通して借用できていた。

消防出初め式への依頼演奏では練習会場に消防署会議室を数回借用できた。また市制70周年記念式典への参加には市民会館を借用できた。

移動手段

練習会場が一定でないため、保護者による送迎が中心となっている。大型打楽器の運搬には、レンタカーを利用することもあり、費用面での負担感が増えている。

事務局運営の方法

保護者の理解を得るために、定期的に保護者説明会(入団説明会、演奏会説明会、演奏旅行事前説明会など)を実施している。今後も、SNSを利用し、広く活動の内容を紹介していく。

取組の成果

コロナ禍後、教員の働き方改革で学校の部活動は下火になってしまったが、当団に参加する団員は、市内外の様々な場所での演奏を通し、技術の向上だけではなく、演奏できる喜びを感じている。

多くの市民に演奏を披露することができ、コロナ禍で低迷していた認知度も再び高まった。

今後の課題と対応方針

練習会場が定まっていないため、団員・楽器の移動は保護者に依頼することが多い。安定した練習会場が不可欠である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

日間賀島演奏旅行

これまで当団の夏期活動として、国内(沖縄県)、海外(中国・韓国・ポーランド・アメリカなど)から団体を誘致した「蒲郡市青少年国際交流音楽祭」を8回開催し、また、沖縄県、中国・韓国・サイパン・グアムへの演奏旅行を行ってきた。

コロナ禍後、新たな発表の場を開拓し、音楽を通じた交流をさらに広げたいと願い、実施した。

活動の詳細

参加人数	35 人	指導者数	6 人
属性	演奏旅行		
具体的な内容	県の離島である日間賀島にて演奏会を実施した。事前に当団と日間賀島小学校とが連絡を取り、会場の下見、演奏曲目の選定などの準備を進めた。演奏会当日には、幼児、児童とその保護者、さらには当日島を訪れた観光客を含め延べ70名を超える観客が日間賀小学校体育館に来場し、楽しいひとときを過ごした。		
団員の声	- 島の方たちに大変喜んでもらった。来年もやりたい。 - 島の小中学生との交流も行いたい。		
日間賀島の声	- 島の中学校が閉校となり、中学生の活動の場は知多半島に移ってしまい、寂しく思っていたが、蒲郡市の中学生の演奏に元気をもらった。島の小中学生とのさらなる交流を期待する。 - 島の良さをアピールできるため、合宿を兼ねて毎年来てほしい。		
運営経費	参加費8,000円/一人 (バス・渡船代)	楽器運搬30,545円 庶務2,000円	

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

蒲郡市ジュニア吹奏楽団は、1995年の設立以降「音楽のまち蒲郡」を代表する団体となっている。市制70周年記念や国道開通式、消防出初め式など、数々の依頼演奏に積極的に参加している。また自主的な演奏会も数多く実施し、認知度も高い。

保護者の吹奏楽団の活動への評価は大変良好である。演奏会だけでなく、普段の練習の様子を見学に来る保護者も多い。また、演奏に対する市民からの評価も高い。今年度からはSNSでの情宣にも力を入れており、当団に対する認知は海外にも広がっている。

現在までは、全て、指導者のボランティアで活動を支えてきた。活動にかかる費用を指導者の私費で賄うことも多い。金銭的な補助が得られれば、指導者の負担が減る。年会費を一人3,000円にしているのは、誰でも部活動の延長で参加できることをコンセプトにしている。

今後の課題と対応方針

今後、部活動からの移行が進み、練習回数や活動回数が増えた場合は、年会費の引き上げも検討するが、できるだけ保護者の負担を減らすことで、多くの生徒が参加しやすくなるようにしたい。

これまで、大きな行事（自主演奏会、海外演奏旅行など）を行うたびに、指導者や保護者が地元企業への寄付集めに奔走してきた。補助金を得られることで、そうした、運営面の負担を減らすことができる。このような、今後の活動においても、工夫が必要になる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組の成果

30年前の設立当初から、団員から年間3,000円の活動費、入団金1,000円を徴収して運営費としている。これは学校施設の利用、楽器借用の理解があり、施設面や備品などへの支出が不要であったからである。しかし、教職員の働き方改革に伴い、学校施設の使用が難しくなり、会場確保や楽器運搬でこれまで以上に費用や、保護者への負担が多くなっている。

演奏会では、企業の広告を募って運営費に充てているが、企業への広告依頼は指導者や保護者が活動時間外に行っており、大きな負担となっている。

今回の支援により、楽譜の購入費、有料の施設借用費、楽器修理費など、費用面での不安が軽減された。

年間通して充実した部活を行うためには、活動を支えるスタッフと安定的な財源が必要であると再確認した。



【楽譜の購入には1曲5000円以上が必要となる】

今後の課題と対応方針

現在の保護者による費用負担（年間3,000円 月額250円）は、全国のジュニア吹奏楽団と比べて破格である。多くの保護者は参加費の増額に肯定的であるが、参加費の値上げによって、参加できない生徒がでてきてはいけなく考えている。国や県、市からの支援を引き続き訴えていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

教職員の負担を軽減する観点から、小中学校の音楽室や大型楽器などの備品を利用ができるよう、市や教育委員会、学校と協議を進める。

取組の成果

コロナ禍で中断していた活動を再開したが、教職員の働き方改革が進み、休日等の学校施設の利用は、当該校の教職員への負担が大きいとの理由などで全くできていない。



【学校施設を借りられないため、市内の幼稚園を借りて練習を行っている】

今後の課題と対応方針

教職員の負担を減らすために、休日等に小中学校の音楽室を使用するためには、音楽室がある校舎に独立した警備システムが確保されている必要がある。当該校の教職員の立ち合いなしで学校施設を利用できるよう、ハード面での支援を教育委員会・学校と今後も交渉していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

団員の所属する学校の部活動顧問への練習・演奏会などの告知

取組の成果

団員がそれぞれの学校の部活動で、当団の活動で身につけた技術を、参加できなかった生徒に伝える様子が見られた。

指導者の属性や配置の工夫

・指導者の属性
中心となる指導者は元吹奏楽部顧問である。指導・運営のノウハウを十分もっている。

一貫指導に関する部活動顧問との連携事例

コロナ禍以降、教職員の働き方改革などで活動することが難しくなっている。

今後の課題と対応方針

少しずつだが、生徒同士の交流の中で変化があるようだが、まだ十分とは言えない。生徒だけでなく、当団の指導者と中学校吹奏楽部顧問の間で指導技術や情報交換などの交流を考えていく必要がある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

蒲郡市ジュニア吹奏楽団は1995年の設立以降「音楽のまち蒲郡」を代表する団体となっている。数々の依頼演奏(市制70周年記念や国道開通式、消防出初め式など)に積極的に参加している。また自主的な演奏会(定期公演、海外演奏旅行、蒲郡市青少年国際交流音楽祭の開催など)も多く実施し、認知度も高い。

当団の活動がきっかけとなり、県内に多くのジュニア吹奏楽団が発足したが、ボランティアで指導する指導者の確保や・学校外での活動場所の確保が大変難しくなっている。

教職員の働き方改革により、中学校の部活動が学校から地域へと移行しつつある今日、当団は、音楽を愛好する子供たちの育成に大きく貢献している団体である。

今後も学校と吹奏楽団の連携を充実させ、生徒の健全育成や市の活性化につなげていきたい。

●成果の評価

保護者の吹奏楽団の活動への評価は大変良好である。演奏会だけでなく、普段の練習の様子を見学に来る保護者も多い。また、演奏に対する市民からの評価も高い。今年度からはSNSでの情宣にも力を入れており、当団に対する認知は海外にも広がっている。

一番の課題は拠点となる練習会場の確保である。大型打楽器を保管できる学校や、市の施設であることが望ましい。練習拠点をもちことで、練習の度に型楽器を運搬する労力や時間、費用を大幅に減らすことができる。また、練習会場変更に伴う連絡業務や、保護者の送迎の負担を軽減することができる。引き続き、市に要請していく。

●今後に向けて

今後も楽しく、生き生きと活動することで、できる喜び、努力の大切さ、人とのつながりを大切にする子供たちの育成に尽力したい。また、これまで以上に様々な場所で演奏を披露し、多くの人々と交流することで、音楽の楽しさや、すばらしさを伝えていきたい。

令和7年8月にはアメリカ、マレーシアから音楽団体を招聘し、第9回蒲郡市青少年国際交流音楽祭を実施予定である。

2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

Q.ジュニア吹奏楽団に入団して良かったことは？【現役団員】

- ・たくさんの曲に挑戦したことで、楽譜を読む力がつきました。
- ・先生が一人一人に声をかけてくれたので、安心できました。
- ・他校の仲間と演奏できたので刺激になりました。
- ・音楽がもっと好きになった。
- ・先生の説明が分かりやすい。
- ・友達が増えた。
- ・楽器をもっと頑張りたくなりました。
- ・いろんな曲に出会うことができた。
- ・楽器がどんどん上達した。

Q.子どもがジュニア吹奏楽団に入団して良かったことは？【保護者】

- ・本人が成長を感じているようだ。
- ・学校だけでは十分な練習ができていないと感じていたのでありがたい。
- ・経験豊富な先生方に指導してもらえてありがたい。
- ・学校以外の人と関わることで視野が広がったように感じる。
- ・休日をダラダラ過ごすことがなくなった。
- ・人前で演奏する機会が多くあるのが成長につながっていると感じる。
- ・前向きに活動している我が子を見ることができ嬉しい。

Q.ジュニア吹奏楽団に入団して良かったことは？【ジュニアOB・OG】

- ・吹奏楽の楽しさと、仲間の大切さを学ぶことができた。
- ・練習時間が増えたことで、演奏技術が上がった。
- ・海外でも演奏できたことがよかった。
- ・楽しく、親切に教えてもらえたことで安心して活動できた。
- ・部活動ではできない貴重な経験を積むことができた。
- ・当時出会った仲間とは、17年経った今でも交流が続いています。

Q.演奏会の感想【観客】

- ・毎年必ず聴きにきている。
- ・とてもすごい演奏に心が震えました。また聴きに来たいと思います。
- ・音楽のまち蒲郡の誇りです。これからも応援しています。
- ・生演奏が聴けて幸せです。明日からまた笑顔で過ごせそうです。



【ジュニアOB・OGのみなさん】

2.実証内容と成果③

広報資料

蒲郡市ジュニア吹奏楽団 第22回演奏会

プログラム
 1. 2024年度全国吹奏楽コンクール 2. 豊川
 3. マーチから最後の子供 4. 豊川
 5. カンタベリー コーラル
 6. アイズニードレ
 7. ワイヤンキング メドレー 8. 豊川

ゲスト **JOBSGET**

2024年3月24日(日) 開場 13:30 開演 14:00
蒲郡市民会館 大ホール **入場無料**

主催：蒲郡市ジュニア吹奏楽団
 後援：蒲郡市教育委員会 豊知原吹奏楽連盟 豊知原ジュニア吹奏楽連盟
 蒲郡市吹奏楽団 蒲郡市シニア吹奏楽団

Instagram Facebook

蒲郡市ジュニア吹奏楽団 コンサート
in 日間賀島

入場無料

プログラム
 1. 豊祭
 2. 豊祭
 3. 豊祭
 4. 豊祭
 5. 豊祭
 6. 豊祭
 7. 豊祭
 8. 豊祭

2024年9月22日(日)
 開演13:30 会場 日間賀小学校体育館

QRコード

蒲郡市ジュニア吹奏楽団
チビッ子 おんがくかい

勇気100%
 にじ
 ぼよん行進曲

いっしょに うたって おどろう!

8がつ17にち (とようび)

がまごおりし い せんたー
蒲郡市生きがいセンター
11:00~11:30

入場無料

QRコード

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【第22回演奏会】



【日間賀島演奏旅行】



【蒲郡市消防出初式】



【練習風景】

地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

●ステークホルダー

学校、蒲郡ジュニア吹奏楽団、市教育委員会

●経過

令和4年度より検討委員会を設置し、令和8年度の9月以降、学校での休日部活動を行わないことを目標にすることを、令和5年度末に決定した。現状休日においては、HP上で中学生の受け入れが可能なスポーツ少年団の紹介をしている。

具体的な地域展開の取組については、まだやっとスタートラインに立ったところであり、多くが今後の課題となっている。

文化部活動として、長い歴史をもつ本市ジュニア吹奏楽団が、学校部活動の休日活動を助ける取組として、本実証事業に参加させていただいている。

●実施内容と今後の課題

蒲郡市ジュニア吹奏楽団は、歴史があり、かねてより学校休日部活動の補助・補強の力となっている。保護者の団の活動への評価も大変良好である。普段の練習の様子を見学に来る保護者も多い。演奏に対する市民からの評価も高い。SNSでの情宣にも力を入れており、楽団に対する認知は海外にも広がっている。

吹奏楽団の報告にもあるように、一番の課題は拠点となる練習会場の確保としている。スポーツ競技においても同様のことが課題となってくる。今後、学校や関係諸機関と連携し、見通しをもって検討していく。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

●令和4年度

- ・部活動の在り方検討委員会を設置、今後の部活動の在り方について検討開始
- ・令和5年度10月からの休日部活動を「第1・3土曜日のみ、月2回」とすることを決定
- ・市スポーツ協会、ジュニア吹奏楽団への指導者派遣調査を実施

●令和5年度

- ・休日の活動に関する児童生徒・保護者・部活動顧問へのアンケート実施
- ・令和5年10月からの「第1・3土曜日学校部活動」への指導者派遣に関する調査を市スポーツ協会へ実施
- ・第1・3土曜日以外の週末に中学生が参加できる市内の運動・スポーツ、文化的な活動の紹介
- ・令和8年度に「原則、中学校の部活動は平日のみの活動とする」ことを目標として、市部活動指針を作成

●令和6年度

- ・蒲郡市小中学校部活動指針（令和6年4月）を発表
- ・今後の在り方について、各研修会等に参加しながら検討

●令和7年度以降

- ・令和8年度の夏季総体以降に向けて、具体的な検討をしていく